

令和6年度 第4回銚子市子ども・子育て会議

開催日時	令和7年2月14日（金） 午後1時30分から午後2時20分まで
開催場所	保健福祉センター2階 会議室
出席者	13名 加田純二会長、宮崎桜委員、大川妙子委員、高品千亜喜委員、 田中直美委員、大木真由美委員、宮崎好子委員、潮来芳子委員、 嶋田順功委員、平野香織委員、石毛良美委員、神山里美委員、 浅野祐一委員
欠席者	2名 山本和正副会長、八角貴志委員
事務局	12名 子育て支援課 大川課長、佐原課長補佐、小林主査、鈴木副主査 学校教育課 小関課長、納家室長 健康づくり課 島田課長、山田室長、東福寺室長、江波戸主任保健師 社会福祉課 山口課長、飯島室長
議題	1. 開会 2. 議事 (1) 第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画について ・パブリックコメントの結果について (2) その他 ・令和7年度保育所等の申込状況について ・令和7年度放課後児童クラブの申込状況について 3. 閉会

1. 開会

2. 議事

(1) 第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画について

- ・パブリックコメントの結果について

(資料)「第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画(案)」

事務局より説明

(質疑応答)

委員 第3回会議での指摘事項は修正されているように思います。

会長 ほかに質問等がないようであれば、(2)その他について、事務局より説明をお願いします。

(2) その他

- ・令和7年度保育所等の申込状況について
- ・令和7年度放課後児童クラブの申込状況について

(資料1)「令和7年度 保育所等入園・入所申込児童数」

(資料2)「令和7年度 放課後児童クラブ入所申込児童数」

事務局より説明

(質疑応答)

委員 資料2について、令和6年度は春日A、海上Aに1年生から2年生、春日B、海上Bに3年生から6年生がそれぞれ区分けされておりましたが、令和7年度については春日A・春日Bと海上A・海上Bの申込児童数が区分けされておられません。区分けに変更があるためこのような記載になっているのでしょうか。

事務局 現時点では申込の段階となるため、今後、委託業者により区分けをしていくことになります。

委員 施設の広さ等を考え、学年ごとの受け入れ人数により区分けしていくことになります。

会長 受け入れ人数により区分けは毎年変わるのでしょうか。

委員 支援員の人数等も関係するので、毎年変更しています。また、中学校の合併により、春日と海上の申込数は増加傾向にあります。

会長 資料に提示されている人数は、確定の人数なのでしょうか。

事務局 2月1日時点での確定人数となりますが、保育所等について

は、育児休業の期間等により、年度途中からの申込があります。放課後児童クラブについては、夏休み等の長期休暇の利用希望がありますが、申込の時点で定員を超えている場合はお断りする可能性はあります。

事務局 小学生については4月に入学することが決まっていますが、未就学児の場合は、生まれ月や成長の具合等が異なるため、年度途中での申込が多くあります。また、保護者の転勤等による転入・転出があるため、年度内での増減はあります。

会長 ほかに質問等がないようであれば、最後に委員の皆様より一言ずつお話ししたいと思います。

委員 本会議に出席して初めて知る事業や支援があったので、広く多くの方に周知できると良いと思いました。

委員 事業や支援を知らないまま子育て期間が終了してしまったので、よりわかりやすく情報発信していただけると良いと思いました。また、会議に参加することで子どもの人数減少を目の当たりにして驚いております。

委員 事務局より「子ども」「こども」の表記についてご説明いただきましたが、その内容を計画書にも注釈で記載したほうが良いと思いました。

委員 昨年も会議に参加しておりましたが、今年も会議で知る事業や相談先等がありました。発達の心配がある子どもについては、どこに相談すれば良いかがわからないことが多々あったので、同じ悩みを抱えている保護者を救える相談場所が広く周知されると良いと思いました。

委員 0歳児の令和7年度保育所等入所申込数が少ないように感じたのですが、働いている方に対する出産休暇や育児休業制度の充実も、申込数減少に影響しているように思いました。

今後も、子ども・子育てについて、住みやすく、産みやすい銚子市をつくっていきたいと思います。

委員 令和7年度保育所等入所申込の説明の際、児童発達支援センターわかばと保育所等を併用して利用している方がいるといった説明がありましたが、現在、児童発達支援センターわかばは定員がいっぱいの状況であり、支援を必要としている子どもの行き場がない状態となっております。今後は、支援を必要とする子どもやその家族が利用できる施設が充実すると良いと思いました。

- 委員 子どもの数は減少傾向にあるなか、放課後児童クラブの利用者数は減少していないため、共働き世帯が増加していると考えられます。そのため、保護者が安心して放課後児童クラブに子どもを預けられるよう努めていきたいと思います。
- 委員 国では、「幼保小の架け橋プログラム」を推進しておりますが、銚子市の教育委員会としてはどのような取組を考えているのかを教えてください。
- 事務局 後ほど内容を詳しくお伺いし、後日、正確な回答をしたいと思います。
- (会議終了後回答)
- 「幼保小の架け橋プログラム」について、文部科学省は令和4年度から3年間を目途に、全国的な教育の充実とモデル地域での実践を推進しています。本市においては、現時点でモデル事業は実施しておりません。
- 委員 児童発達支援センターわかばは、利用を希望して見学に来ていただく方が多くいらっしゃるのですが、令和7年度は定員がいっぱいで受け入れができない状況となっております。このような状況ではありますが、できる限り銚子市に協力していきたいと思っております。
- 委員 新小学一年生への入学説明会の時に主任児童委員についてのリーフレットを配布しておりますが、主任児童委員の認知度は低い現状があります。回覧板等での周知を検討しておりますが、周知方法として、何か良い案があれば教えていただきたいと思います。
- 委員 継続の事業に加え、新規事業も追加されているため、職員と共有し、子育て支援に力を入れていく必要があると思いました。
- 委員 会議での意見を元に計画を修正していただき、修正箇所について説明をしていただきましたが、口頭による説明だけでなく、どのように修正したかが示された資料があるとよりわかりやすいと思いました。
- 会長 発達障害のある子どもが増加しているため、国、県、市レベルでの支援が必要だと感じております。
- 主任児童委員の認知度については、1度周知しただけでは認識されないこともあるので、何度かに渡って周知する必要があると思います。また、銚子市の広報紙と比べて、他市の広報紙には子どもの様子が多く載っているように感じました。子どもの様子を

多く載せることで保護者も目を通しやすくなると思うので、周知の方法についても検討が必要になると思います。

事務局

子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、未就学児の保護者、小学生の保護者に加えて、今回初めて中学２年生へのアンケートを実施いたしました。そのなかで、銚子市に不足している部分としては、経済的支援を手厚くしてほしいとの回答が多かったため、銚子市では新年度予算に小中学校及び保育所等の給食費の引き続きの無償化と、新たに３歳未満児の保育料無償化について予算要求をしました。今後の市議会により承認された場合、実施する内容となりますが、この場でご報告させていただきます。

計画策定にあたっては、委員の皆様からたくさんのご意見をいただき感謝申し上げます。委員の任期は２年となりますので、来年度も引き続き貴重なご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

会長

ほかに質問がないようであれば、議事は以上で終了となります。

３．閉会